

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	KCS鹿児島情報専門学校
設置者名	学校法人電子開発学園九州

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	大学併修科	夜・通信	360 単位時間	320 単位時間	
	情報システム専門科	夜・通信	360 単位時間	240 単位時間	
	情報メディア科	夜・通信	210 単位時間	160 単位時間	
	情報ビジネス科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ <a href="https://www.kcska.ac.jp/about/evaluate-2/other-jitsumu/">https://www.kcska.ac.jp/about/evaluate-2/other-jitsumu/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	KCS鹿児島情報専門学校
設置者名	学校法人電子開発学園九州

1. 理事（役員）名簿の公表方法

希望者には学校備付の役員名簿を閲覧させる

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	R2.6.27 ~ R4.6.26	経理・財務
非常勤	株式会社役員	R2.6.27 ~ R4.6.26	法人経営
(備考) 外部理事 総数 3名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	KCS鹿児島情報専門学校
設置者名	学校法人電子開発学園九州

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設・廃止を決定している。</p> <p>実施する授業科目は、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名, 時間数, 科目概要, 学習到達目標, 講義計画, 使用教材, 実習環境, 目標資格, 成績評価方法)、表現方法が統一された授業計画(シラバスを)を作成し、毎年度初めにホームページに公表する。</p> <p style="text-align: right;">全学科同一</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.kcska.ac.jp/about/evaluate-2">https://www.kcska.ac.jp/about/evaluate-2</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録し、履修科目ごとに総授業時限数の2/3以上を出席した者に対して、履修認定の評価を行う。</p> <p>履修認定は、各授業科目のシラバスに明記している単位認定試験やレポート等を評価基準に従って評価し、評価点が60点以上(成績評価が秀・優・良・可)の場合に、履修を認定している。単位認定試験が60点未満の者が、再試を受け60点を超えた場合の評価点は60点とする。</p> <p>評価点から成績評価(秀・優・良・可・不可)への変換方法については、明確な点数基準を定めており、これらについては学生の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p> <p style="text-align: right;">全学科同一</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学科・学年別に、指定した期間に修得することが義務付けられているすべての科目について、科目の授業形式や総授業時間数を基に予め定めたその科目の単位数で重みづけをした履修者の評価点の平均点（総合評価）で総合順位をつける。</p> <p>総合評価＝（<math>\Sigma</math>科目評価点・単位数）／<math>\Sigma</math>単位数</p> <p>履修認定のための評価試験を行わず、授業への出席要件のみで履修認定を行う科目（認定科目）は、総合評価の算出に含めない</p> <p>総合評価は、学科・学年・学期(前期・後期)別に、在籍者に対して行う出席状況や科目の履修認定状況を記載した成績表を、学期毎に、本人・保護者宛に通知する。なお、成績の分布状況については、成績表に対象学科学年における総合順位を記載しており、学生は自身の成績が下位4分の1に入っていないかを把握できるようにしている。</p> <p>これらについては学生の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p> <p style="text-align: right;">全学科同一</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.kcska.ac.jp/uploads/joho-koukai/21_public.pdf">https://www.kcska.ac.jp/uploads/joho-koukai/21_public.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>設置している学科ごとに社会ニーズを踏まえた育成人材像と卒業認定方針を定めたディプロマ・ポリシーを定め、ホームページで公開している。</p> <p>学科ごとに卒業時点で修得しておくべき専門スキルと社会人として求められる心構えや基礎能力を修得させるために、教育課程を編纂し科目ごとに授業計画を定め、各科目の授業を実施し履修を認定する。</p> <p>卒業年度末に卒業判定会議の諮問を受け、校長は、①学科ごとに定められた所定の年限以上在籍し、②学科ごとに定められた所定の科目を履修した者はディプロマ・ポリシーの卒業要件を満たした者として卒業を認定し、大学併修科の卒業認定者には高度専門士を、他の学科の卒業認定者には専門士と称することを認める。</p> <p style="text-align: right;">全学科同一</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.kcska.ac.jp/uploads/joho-koukai/22_public.pdf">https://www.kcska.ac.jp/uploads/joho-koukai/22_public.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	KCS鹿児島情報専門学校
設置者名	学校法人電子開発学園九州

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	対象者を特定せず、希望者には学校備付けの「貸借対照表」を閲覧させる
収支計算書又は損益計算書	対象者を特定せず、希望者には学校備付けの「収支計算書」を閲覧させる
財産目録	対象者を特定せず、希望者には学校備付けの「財産目録」を閲覧させる
事業報告書	対象者を特定せず、希望者には学校備付けの「事業報告書」を閲覧させる
監事による監査報告（書）	対象者を特定せず、希望者には学校備付けの「監事による監査報告書」を閲覧させる

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	大学併修科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4050 単位時間/単位	1982 <small>単位時間</small>	1556 <small>単位時間</small>	2492 <small>単位時間</small>	0 <small>単位時間</small>	0 <small>単位時間</small>
			6030 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		103人	0人	5人	0人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設・廃止を決定している。</p> <p>実施する授業科目は、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一された授業計画（シラバスを）を作成し、毎年度初めにホームページに公表する。</p> <p>授業はシラバスに基づいて行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録し、履修科目ごとに総授業時限数の2/3以上を出席した者に対して、履修認定の評価を行う。</p> <p>履修認定は、各授業科目のシラバスに明記している単位認定試験やレポート等を評価基準に従って評価し、評価点が60点以上（成績評価が秀・優・良・可）の場合に、履修を認定している。単位認定試験が60点未満の者が、再試を受け60点を超えた場合の評価点は60点とする。</p> <p>評価点から成績評価（秀・優・良・可・不可）への変換方法は、学生の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>社会ニーズを踏まえ、大学併修科の育成人材像と卒業認定方針を定めたディプロマ・ポリシーを定め、ホームページで公開している。</p> <p>大学併修科の卒業時点で修得しておくべき専門スキルと社会人として求められる心構えや基礎能力を修得させるために、教育課程を編纂し科目ごとに授業計画を定め、各科目の授業を実施し履修を認定する。</p> <p>卒業年度末に卒業判定会議の諮問を受け、校長は、4年以上在籍し定められた所定の科目を履修した者は、ディプロマ・ポリシーの卒業要件を満たした者として卒業を認定し、高度専門士と称することを認める。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得：情報処理技術者試験等の対策講座の開設、ベンダー試験等を校内で受験するための試験会場設置や受験料割引サービスの提供</li> <li>ハラスメント防止対策：ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	10人 (90.9%)	1人 (9.1%)
(主な就職、業界等) システム開発・運用職:90%, 教育事業:10%      地元就職率:40%			
(就職指導内容) 就職対策講座・就職セミナーの開設 担任及び就職部によるキャリアコンサルティング 校内企業説明会開催及び校内就職試験の斡旋 インターンシップ受け入れ企業の開拓およびインターンシップの仲介			
(主な学修成果（資格・検定等）) 卒業生に占める取得率 情報処理技術者試験取得率 100%（基本情報技術者試験取得率 64%） 応用情報技術者試験取得率 9% セキュリティマネジメント試験 55% 在学中全資格取得数 平均 5.3 資格/人 最大 10 資格/人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76人	4人	5.3%
(中途退学の主な理由) 経済困窮 1名 社会的不適応 3名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・学科長等によるサポート 教育カウンセラーによる支援 Q-Uの活用等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	情報システム専門科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3060 単位時間/単位	1620 単位時間	1240 単位時間	1820 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4680 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	155人	0人	5人	0人	5人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設・廃止を決定している。</p> <p>実施する授業科目は、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名, 時間数, 科目概要, 学習到達目標, 講義計画, 使用教材, 実習環境, 目標資格, 成績評価方法)、表現方法が統一された授業計画(シラバスを)を作成し、毎年度初めにホームページに公表する。</p> <p>授業はシラバスに基づいて行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録し、履修科目ごとに総授業時限数の2/3以上を出席した者に対して、履修認定の評価を行う。</p> <p>履修認定は、各授業科目のシラバスに明記している単位認定試験やレポート等を評価基準に従って評価し、評価点が60点以上(成績評価が秀・優・良・可)の場合に、履修を認定している。単位認定試験が60点未満の者が、再試を受け60点を超えた場合の評価点は60点とする。</p> <p>評価点から成績評価(秀・優・良・可・不可)への変換方法は、学生の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>社会ニーズを踏まえ、情報システム専門科の育成人材像と卒業認定方針を定めたディプロマ・ポリシーを定め、ホームページで公開している。</p> <p>情報システム専門科の卒業時点で修得しておくべき専門スキルと社会人として求められる心構えや基礎能力を修得させるために、教育課程を編纂し科目ごとに授業計画を定め、各授業を実施し履修を認定する。</p> <p>卒業年度末に卒業判定会議の諮問を受け、校長は、3年以上在籍し定められた所定の科目を履修した者は、ディプロマ・ポリシーの卒業要件を満たした者として卒業を認定し、専門士と称することを認める。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得: 情報処理技術者試験等の対策講座の開設、ベンダー試験等を校内で受験するための試験会場設置や受験料割引サービスの提供</li> <li>ハラスメント防止対策: ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	0人 ( 0%)	37人 ( 97.4%)	1人 ( 2.6%)
(主な就職、業界等) システム開発・運用職:89%, ゲーム制作職:3%, 医療情報職:3%, その他:5% 地元就職率:43%			
(就職指導内容) 就職対策講座・就職セミナーの開設 担任及び就職部によるキャリアコンサルティング 校内企業説明会開催及び校内就職試験の斡旋 インターンシップ受け入れ企業の開拓およびインターンシップの仲介			
(主な学修成果（資格・検定等）) 卒業生に占める取得率 基本情報技術者試験：61% 応用情報技術者試験：18% 医療情報等医療系検定試験：37% 他(MOS, SEA/J CSBM, MM 検定等) 在学中全資格取得数 平均 5.3 資格/人 最大 10 資格/人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
135人	5人	3.7%
(中途退学の主な理由) 意欲欠如 2名 経済困窮 1名 社会的不適応 2名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・学科長等によるサポート 教育カウンセラーによる支援 Q-U の活用等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	情報メディア科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間/単位	1216 単位時間	808 単位時間	1456 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3480 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		80人	0人	2人	0人	2人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
<p>(概要)</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設・廃止を決定している。</p> <p>実施する授業科目は、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名, 時間数, 科目概要, 学習到達目標, 講義計画, 使用教材, 実習環境, 目標資格, 成績評価方法)、表現方法が統一された授業計画(シラバスを)を作成し、毎年度初めにホームページに公表する。</p> <p>授業はシラバスに基づいて行う。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>(概要)</p> <p>学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録し、履修科目ごとに総授業時限数の2/3以上を出席した者に対して、履修認定の評価を行う。</p> <p>履修認定は、各授業科目のシラバスに明記している単位認定試験やレポート等を評価基準に従って評価し、評価点が60点以上(成績評価が秀・優・良・可)の場合に、履修を認定している。単位認定試験が60点未満の者が、再試を受け60点を超えた場合の評価点は60点とする。</p> <p>評価点から成績評価(秀・優・良・可・不可)への変換方法は、学生の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>(概要)</p> <p>社会ニーズを踏まえ、情報メディア科の育成人材像と卒業認定方針を定めたディプロマ・ポリシーを定め、ホームページで公開している。</p> <p>情報メディア科の卒業時点で修得しておくべき専門スキルと社会人として求められる心構えや基礎能力を修得させるために、教育課程を編纂し科目ごとに授業計画を定め、各授業を実施し履修を認定する。</p> <p>卒業年度末に卒業判定会議の諮問を受け、校長は、2年以上在籍し定められた所定の科目を履修した者は、ディプロマ・ポリシーの卒業要件を満たした者として卒業を認定し、専門士と称することを認める。</p>	
学修支援等	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得: 情報処理技術者試験等の対策講座の開設、ベンダー試験等を校内で受験するための試験会場設置や受験料割引サービスの提供</li> <li>ハラスメント防止対策: ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。</li> </ul>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	2人 ( 5.1%)	36人 ( 92.3%)	1人 ( 2.6%)
(主な就職、業界等) システム開発・運用職:89%, 製造・サービス職等:11%, 地元就職率:44%			
(就職指導内容) 就職対策講座・就職セミナーの開設 担任及び就職部によるキャリアコンサルティング 校内企業説明会開催及び校内就職試験の斡旋 インターンシップ受け入れ企業の開拓およびインターンシップの仲介			
(主な学修成果（資格・検定等）) 卒業生に占める取得率 基本情報技術者試験：46% 応用情報技術者試験：10% 他(MM検定, DB, SEA/JCSBM) 在学中全資格取得数 平均3.9資格/人 最大9資格/人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
86人	3人	3.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更2名(就職1名, 大学進学1名) 社会的不適応1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・学科長等によるサポート 教育カウンセラーによる支援 Q-Uの活用等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	情報ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2070 単位時間/単位	318 単位時間	558 単位時間	924 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		4人	0人	1人	0人	1人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設・廃止を決定している。</p> <p>実施する授業科目は、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名, 時間数, 科目概要, 学習到達目標, 講義計画, 使用教材, 実習環境, 目標資格, 成績評価方法)、表現方法が統一された授業計画(シラバスを)を作成し、毎年度初めにホームページに公表する。</p> <p>授業はシラバスに基づいて行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録し、履修科目ごとに総授業時限数の2/3以上を出席した者に対して、履修認定の評価を行う。</p> <p>履修認定は、各授業科目のシラバスに明記している単位認定試験やレポート等を評価基準に従って評価し、評価点が60点以上(成績評価が秀・優・良・可)の場合に、履修を認定している。単位認定試験が60点未満の者が、再試を受け60点を超えた場合の評価点は60点とする。</p> <p>評価点から成績評価(秀・優・良・可・不可)への変換方法は、学生の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>社会ニーズを踏まえ、情報ビジネス科の育成人材像と卒業認定方針を定めたディプロマ・ポリシーを定め、ホームページで公開している。</p> <p>情報ビジネス科の卒業時点で修得しておくべき専門スキルと社会人として求められる心構えや基礎能力を修得させるために、教育課程を編纂し科目ごとに授業計画を定め、各授業を実施し履修を認定する。</p> <p>卒業年度末に卒業判定会議の諮問を受け、校長は、2年以上在籍し定められた所定の科目を履修した者は、ディプロマ・ポリシーの卒業要件を満たした者として卒業を認定し、専門士と称することを認める。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得: 情報処理技術者試験等の対策講座の開設、ベンダー試験等を校内で受験するための試験会場設置や受験料割引サービスの提供</li> <li>ハラスメント防止対策: ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	8人 (88.9%)	1人 (11.1%)
(主な就職、業界等) 医療事務職:50%, 事務職:37%, 技術職:13% 地元就職率:100%			
(就職指導内容) 就職対策講座・就職セミナーの開設 担任及び就職部によるキャリアコンサルティング 校内企業説明会開催及び校内就職試験の斡旋 インターンシップ受け入れ企業の開拓およびインターンシップの仲介			
(主な学修成果（資格・検定等）) 卒業生に占める取得率 ITパスポート試験：78% MOS検定：100% 他（簿記、販売士、秘書検定等） 在学中全資格取得数 平均6.3資格/人 最大11資格/人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	1人	7.1%
(中途退学の主な理由) 意欲欠如1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・学科長等によるサポート 教育カウンセラーによる支援 Q-Uの活用等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
大学併修科	100,000 円	364,000 円	420,000 円	施設費 188,000 円 実習費 74,000 円 維持費 138,000 円 校費 20,000 円
情報システム 専門科	150,000 円	558,000 円	458,000 円	施設費 138,000 円 実習費 162,000 円 維持費 138,000 円 校費 20,000 円
情報メディア 科	150,000 円	558,000 円	458,000 円	施設費 138,000 円 実習費 162,000 円 維持費 138,000 円 校費 20,000 円
情報ビジネス 科	150,000 円	420,000 円	364,000 円	施設費 106,000 円 実習費 132,000 円 維持費 106,000 円 校費 20,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.kcska.ac.jp/about/evaluate">https://www.kcska.ac.jp/about/evaluate</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生、企業及び保護者等から構成される委員が、学校の自己評価結果をもとに、教育理念と目的に沿った人材育成がなされ、かつ、健全な学校運営が行われているか評価し、その評価結果を教育活動その他の学校運営改善等に活かし、学校運営の客観性と透明性を高めることを目的とする。 学校関係者評価の主な評価項目は次のとおりである。 ・教育課程を見直す仕組みがあり、適切にその活動が実施されているか ・資格取得状況や進路先等から見て、学修成果は人材育成像に合致しているか ・学習や就職等の支援が適切に行われているか 退学率は許容できる程度か ・学校運営や募集活動は適切に行われているか ・法令等の遵守や情報公開の取り組みは行われているか		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
元大学理事	R1 年 10 月 1 日～ R2 年 9 月 30 日	学識経験者
株式会社代表取締役	R1 年 10 月 1 日～ R2 年 9 月 30 日	企業関係者
高等学校教諭	R1 年 10 月 1 日～ R2 年 9 月 30 日	高校関係者
地域住民	R1 年 10 月 1 日～ R2 年 9 月 30 日	地域関係者
株式会社従業員	R1 年 10 月 1 日～ R2 年 9 月 30 日	卒業生代表
在校生の保護者	R1 年 10 月 1 日～ R2 年 9 月 30 日	保護者代表
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)  
[https://www.kcska.ac.jp/uploads/joho-koukai/09\\_public.pdf](https://www.kcska.ac.jp/uploads/joho-koukai/09_public.pdf)

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)  
<https://www.kcska.ac.jp/about/evaluate-2/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。